

二十三番 杉本啓雄 本業より、は、厚生委員会に、相当の職務を、いたものと、思ひます。が、当初の募集収入、百五十万九千円に、訂正して、九十五万五千円、とうものみ、減らなつて、おりました。このよう、事務が、現に、しれど、是と、あるべき、といふ、大きな、原因になつて、おりました。と、考へます。厚生委員会に、切さず、しても、さういふ、失つて、又、担当課長に、解任、依頼、したい、事は、収入の、面、に、切つて、は、最、限、後、を、収、入、組、人、で、いた、す、と、支、拂、の、方、も、最、大、限、組、人、で、いた、さ、す、と、した、なら、ば、この、よう、な、大、き、い、し、れ、ど、や、は、こ、の、い、ふ、思、ひ、す、の、を、厚生委員会に、切さず、しても、又、担当課長も、各、算、入、つ、て、は、不、成、調、査、し、て、お、か、し、つ、て、いた、さ、ない、と、思、ひ、う、わ、け、が、あ、ります。

十一番大久保一郎 議長

議長高橋千春
十一番

一十二番大條一郎
 公前質屋と云ふ是れいつて當然事情對から事業のみ
 くといふ事は町金殿の建民の福祉が良くなるという結果のみ利の事では
 ないまいし、従来事業の一つか赤字になるという事は當然と云へます。又

福生町議会

相手がある事だし、ふかういふは奴が当初計算し計りずのう事と雖
 い関係もありと思ひ事のみもちうへ公債買入の運当に計し、さういふ歩進
 る福前から公債買入とすもの必要ないといふ態勢にもういふが中絶せら
 ぬといふ思ひ事し、おのれが國の幣力を頼む福前侯氏の向上のため、このうな事
 業のみ必要なるか否か、うな方策を構ひていたが、いとも事を悟り、電報申し
 上り事す。

一議長高橋千登二 二いんゞ質疑を歸し大しき事。おぼかりい大しき事。議案第百廿号は委員長報告の通り決すものと結果議を多々か。

(「義」之好者あり)

一議長(高橋千登) 出席議員は之録の事。之を議長及び委員長数等の
通り可決いたした。

一、儀長前橋孝春 日種第十昭孝平九年及福壽昭孝之商場特刊金針補起子算
弟房儀栗第百文男走儀種以俊生年本沙以三寸建故養復合人

審査を付託しつかり事ゆへ本貫長から報告願ひます。

一九番(中西虎藏)議長

一、議長（刺橋平春）
九番

一九番(中西虎戯)
登壇

此指がかりましたので審査報告とさせていただきます。件名は昭和十九年度補
 正費と當場特別会計補正予算第百五号議案第百五号でございます。委員
 会付託日は昭和十九年十月十四日第五回臨時議会臨時会に付て建設
 委員会に付託、委員会先會日昭和十九年十月二十日午前十時本委員会に
 付託された右議案については慎重審査の結果、原案を可決すべきものと
 決定した右の通り報告いたします。昭和十九年十月二十日建設委員会委員人
 長中田虎蔵、福生町議会議長高橋千春殿以下でございます。補正させ
 るべき事と決断した通り即補正のたよりでございます。大体繰入金と即
 修正としまして、運費必要経費の補正とすることの能うござります。

福生町議会

今までの新経費に切り替へる削減と云ふ事は、この及の補正に於てなれや、この矢
 へつゝ委員会として、増徴に希望をせしむ結果、本業を了つたわけや。
 二、三の事の上で、この建議のほどお願ひいたします。

一、鐵長(前橋)春二より本道長報告に對し、須疑を以て行ひ奉る。

果鐵心之可者なり

一歳長利高不登　　ふらふ疑生終歸いふ事。おすめいふ事。張栗弟百々
け委員長教者の母。木下乃に御異議の事人か。

(一) 議の上で決める

一、議長・副議長各一名
二、議員二十名以上二十五名以下
三、議長は議員の中から選出する。
四、議長は議員の職務を監督し、その執行を指揮する。
五、議長は議員の職務を監督し、その執行を指揮する。

一議長高橋平君、日程式上、昭和九年秋滿洲國都府計畫衛生部及農林部事務所
別々計畫を呈示し、協議案を白く、各々議題に及し、本日の以て、本建設
委員会に審査を付託して、お行事、各々委員長から報告願ひます。

